



なかしん

中小企業景況レポート

No.41 中栄信用金庫 地域支援部

2021年10月～12月実績と2022年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 2021年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 340社
回答企業数 322社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	94	90	95.7
卸売業	30	28	93.3
小売・飲食業	66	61	92.4
サービス業	52	50	96.1
建設業	63	58	92.0
不動産業	35	35	100.0
合計	340	322	94.7

◆10月～12月期の概況

～企業物価上昇の影響を受け、景況感は6期ぶりに悪化となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は ▲21.1 を示し、前回調査（2021年7～9月期）に比べ 4.0 ポイントの悪化となりました。

緊急事態宣言の解除により、小売・飲食業やサービス業において、個人消費の持ち直しによる動きがみられたものの、依然続く木材や鋼材などの原材料価格高騰に対し仕入価格上昇分を販売価格へ転嫁できずにいる企業などが見受けられます。また原油高による燃料費高騰は収益環境に大きく影響し、厳しい状況となっていることから、景況感は6期ぶりの悪化となっております。

今後については、景況感の改善が予想されておりますが、特別調査では2022年の日本の景気を「良い局面」とする企業が2割弱に対し「悪い局面」と回答した企業が6割弱と、コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の拡大等による先行きの不透明感は続いております。

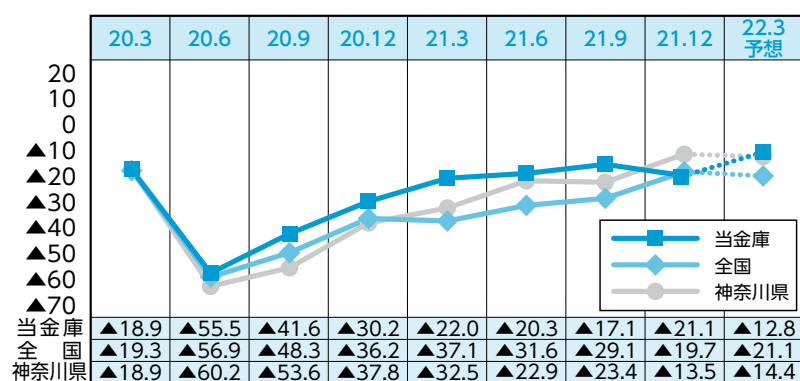
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 6.2 ポイント改善の ▲2.5、収益実績 D.I. は 10.6 ポイント改善の ▲5.3 となっております。また、仕入価格 D.I. は 5.7 ポイント上昇の 49.3、人手過不足 D.I. は 5.1 ポイント不足感が強まり ▲21.7、資金繰り D.I. は 1.3 ポイント小幅改善の ▲7.4 となっております。また業種別の景況感は、不動産業が 20.6 ポイント悪化の 2.9、建設業が 2.0 ポイント小幅悪化の ▲6.9、製造業が 11.1 ポイント悪化の ▲13.4、小売・飲食業が 20.4 ポイント改善の ▲32.8、卸売業が 1.2 ポイント小幅悪化の ▲35.7、サービス業が 14.1 ポイント悪化の ▲46.0 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 9.4 ポイント改善の ▲19.7、神奈川県内については 9.9 ポイント改善の ▲13.5 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は 8.3 ポイント改善の ▲12.8、売上額 D.I. は 6.5 ポイント改善の 4.0、収益 D.I. は 3.7 ポイント改善の ▲1.6 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い ← → 悪い

製造業

概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 11.1 ポイント悪化の▲13.4 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 4.4 ポイント悪化の▲2.2、収益 D.I. は 3.5 ポイント改善の▲3.3 となっております。

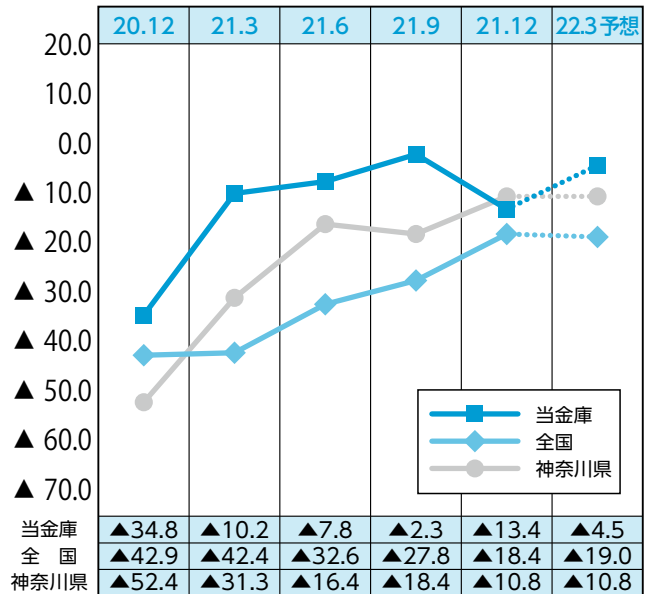
半導体をはじめとする部品不足に起因する大手企業の生産調整や原材料価格高騰等の影響が大きく、景況感は 5 期ぶりに悪化いたしました。

また、一部の企業においては、自動車の EV 化や脱炭素等、社会環境の変化が激しいことから、各種補助金を活用した新分野進出や受注の幅を広げる等、中長期的な企業課題へ対応する動きもみられます。

なお、全国は 9.4 ポイント改善の▲18.4 となっており、神奈川県は 7.6 ポイント改善の▲10.8 となっております。

来期の予想業況判断については、8.9 ポイント改善の▲4.5 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	31.4	39.4	29.2	D.I. 2.2
当期実績	22.2	53.4	24.4	▲2.2
来期予想	35.5	42.3	22.2	13.3
前年同期比	34.4	39.0	26.6	7.8

販売価格

前期実績	8.9	84.4	6.7	D.I. 2.2
当期実績	6.6	85.7	7.7	▲1.1
来期予想	17.7	75.7	6.6	11.1

在庫

前期実績	10.3	82.9	6.8	D.I. 3.5
当期実績	8.8	81.2	10.0	▲1.2
来期予想	11.1	77.8	11.1	0.0

人手

前期実績	13.7	68.0	18.3	D.I. ▲4.6
当期実績	11.1	70.1	18.8	▲7.7
来期予想	8.8	67.9	23.3	▲14.5

収益

前期実績	23.5	46.2	30.3	D.I. ▲6.8
当期実績	22.2	52.3	25.5	▲3.3
来期予想	24.4	51.2	24.4	0.0
前年同期比	31.1	37.8	31.1	0.0

原材料価格

前期実績	62.5	37.5	D.I. 62.5
当期実績	65.5	34.5	65.5
来期予想	65.5	33.4	1.1 64.4

資金繰り

前期実績	13.6	69.4	17.0	D.I. ▲3.4
当期実績	10.0	75.6	14.4	▲4.4
来期予想	12.2	72.3	15.5	▲3.3

設備状況

前期実績	5.8	73.3	20.9	D.I. ▲15.1
当期実績	5.5	77.9	16.6	▲11.1
来期予想	2.2	77.8	20.0	▲17.8

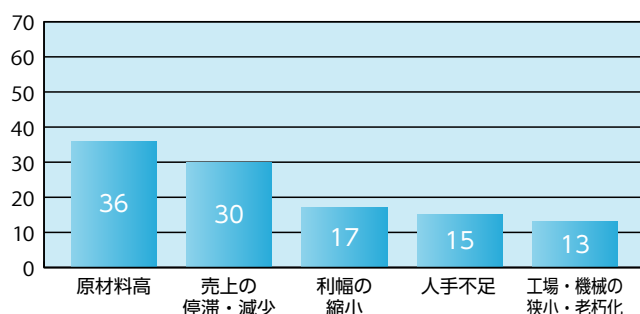
当期実績…2021 年 10～12 月期
来期予想…2022 年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

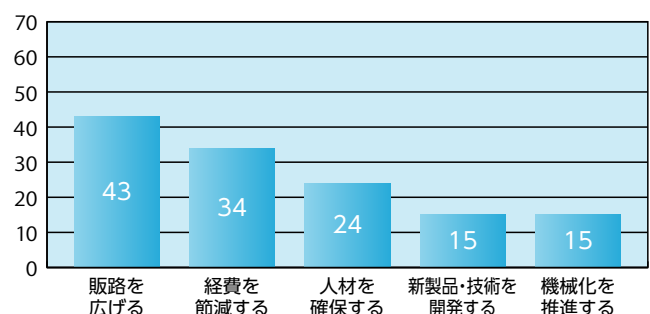
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.2 ポイント小幅悪化の▲35.7となりました。項目別では、売上額 D.I. は 17.2 ポイント改善の 0.0、収益 D.I. は 34.5 ポイント改善の 3.5 となっております。

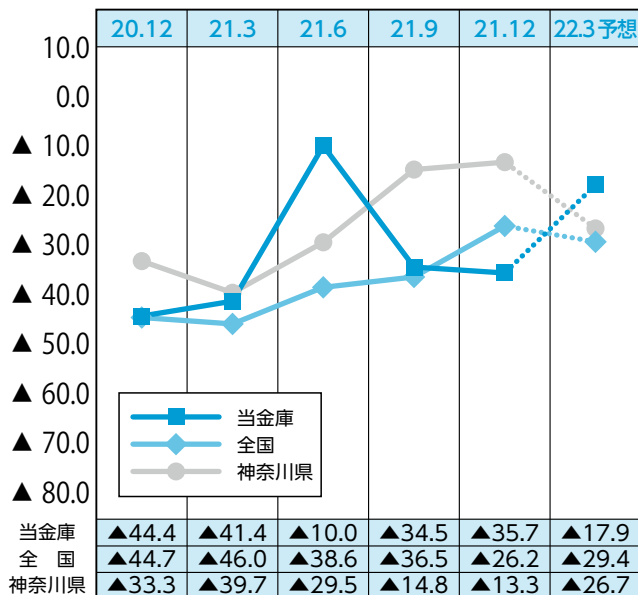
緊急事態宣言の解除により食品卸では飲食店からの受注回復がみられた他、建材卸においても戸建てやマンションなどの需要増加となったことから、売上額・収益 D.I. はいずれも改善となっております。

また、コロナウイルス感染状況が落ち着きを見せる中、社会経済活動の活性化に対する期待感より予想売上額・予想収益 D.I. についてもプラス域での推移となっております。

なお、全国は 10.3 ポイント改善の▲26.2 となっており、神奈川県は 1.5 ポイント小幅改善の▲13.3 となっております。

来期の予想業況判断については、17.8 ポイント改善の▲17.9 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	17.2	48.4	34.4	D.I. ▲17.2
当期実績	25.0	50.0	25.0	0.0
来期予想	42.8	39.4	17.8	25.0
前年同期比	32.1	35.8	32.1	0.0

販売価格

前期実績	27.5	62.2	10.3	D.I. 17.2
当期実績	25.0	71.5	3.5	21.5
来期予想	28.5	68.0	3.5	25.0

在庫

前期実績	10.3	89.7		D.I. 10.3
当期実績	3.5	93.0	3.5	0.0
来期予想	3.5	93.0	3.5	0.0

人手

前期実績	7.1	67.9	25.0	D.I. ▲17.9
当期実績		71.5	28.5	▲28.5
来期予想		64.3	35.7	▲35.7

収益

前期実績	10.3	48.4	41.3	D.I. ▲31.0
当期実績	28.5	46.5	25.0	3.5
来期予想	28.5	53.7	17.8	10.7
前年同期比	21.4	46.5	32.1	▲10.7

仕入価格

前期実績	58.6	38.0	3.4	D.I. 55.2
当期実績	42.8	57.2		42.8
来期予想	39.2	60.8		39.2

資金繰り

前期実績	3.5	75.1	21.4	D.I. ▲17.9
当期実績	3.5	85.8	10.7	▲7.2
来期予想		78.6	21.4	▲21.4

設備状況

前期実績	10.7	75.1	14.2	D.I. ▲3.5
当期実績	3.5	85.8	10.7	▲7.2
来期予想	7.1	75.1	17.8	▲10.7

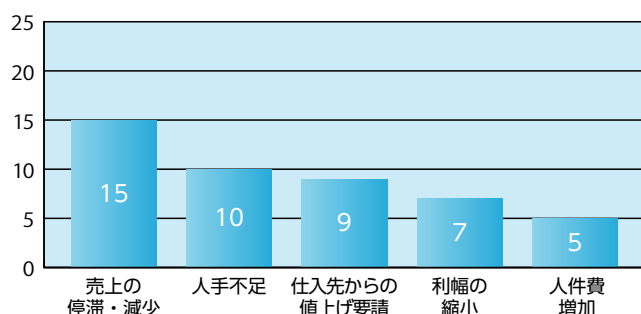
当期実績…2021年10～12月期
来期予想…2022年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

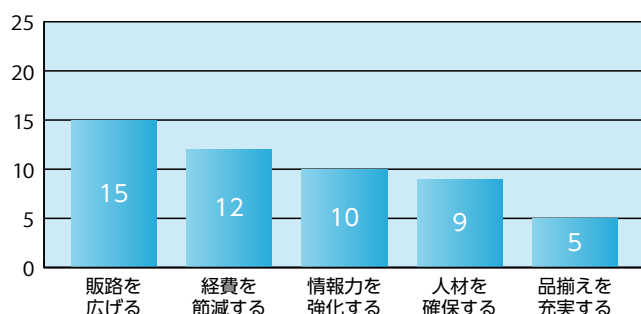
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 20.4 ポイント改善の▲32.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 27.3 ポイント改善の▲9.8、収益 D.I. は 36.9 ポイント改善の▲8.2 となっております。

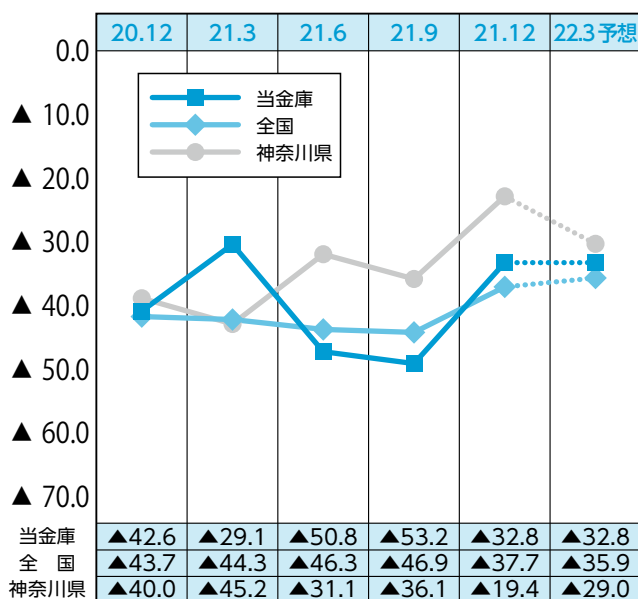
緊急事態宣言の解除による時短営業の解除や酒類の提供再開により、飲食店では昼間の客足が戻りつつあり、個人消費の持ち直しの動きがみられております。一方、感染再拡大への警戒感から忘年会など大人数での宴会は避ける傾向にあり、業態によって回復進度に差が生じております。

また、新車販売においては宣言解除による外出需要の増加により自動車の購入意欲が高まってはいるものの、半導体不足による納期の長期化などにより供給量が低下し商品不足が発生しております。一方中古車販売では新車を購入することができなかった顧客を獲得することで売上増加となっている企業がみられております。

なお、全国は 9.2 ポイント改善の▲37.7 となっており、神奈川県は 16.7 ポイント改善の▲19.4 となっております。

来期の予想業況判断については、横ばいの▲32.8 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	20.9	21.1	58.0	D.I. ▲37.1
当期実績	29.5	31.2	39.3	▲9.8
来期予想	26.2	41.1	32.7	▲6.5
前年同期比	27.8	34.5	37.7	▲9.9

販売価格

前期実績	11.2	80.8	8.0	D.I. 3.2
当期実績	14.7	78.8	6.5	8.2
来期予想	11.4	78.8	9.8	1.6

在庫

前期実績	8.0	82.4	9.6	D.I. ▲1.6
当期実績	6.5	90.3	3.2	3.3
来期予想	9.8	83.7	6.5	3.3

人手

前期実績	11.2	74.3	14.5	D.I. ▲3.3
当期実績	6.5	65.7	27.8	▲21.3
来期予想	11.4	64.1	24.5	▲13.1

収益

前期実績	16.1	22.7	61.2	D.I. ▲45.1
当期実績	26.2	39.4	34.4	▲8.2
来期予想	31.1	36.2	32.7	▲1.6
前年同期比	21.3	42.7	36.0	▲14.7

仕入価格

前期実績	32.2	61.4	6.4	D.I. 25.8
当期実績	42.6	49.3	8.1	34.5
来期予想	39.3	50.9	9.8	29.5

資金繰り

前期実績	8.0	69.5	22.5	D.I. ▲14.5
当期実績	13.1	65.6	21.3	▲8.2
来期予想	14.7	67.3	18.0	▲3.3

設備状況

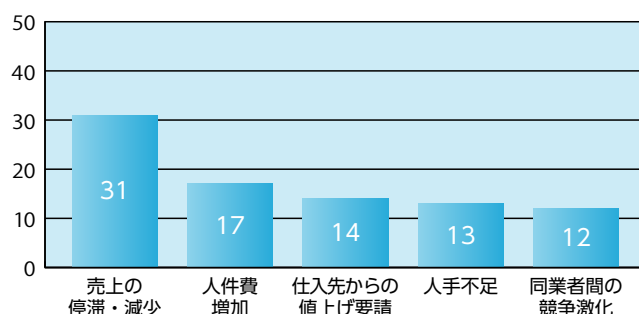
前期実績	6.5	82.1	11.4	D.I. ▲4.9
当期実績	3.2	91.9	4.9	▲1.7
来期予想	1.6	93.5	4.9	▲3.3

当期実績…2021 年 10～12 月期
来期予想…2022 年 1～3 月期

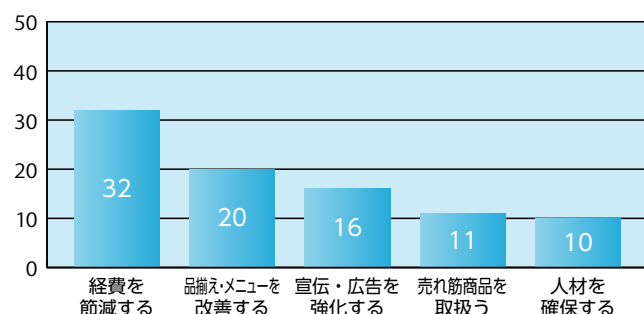
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 14.1 ポイント悪化の▲46.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 3.0 ポイント小幅改善の▲10.0、収益 D.I. は 0.8 ポイント小幅悪化の▲16.0 となっております。

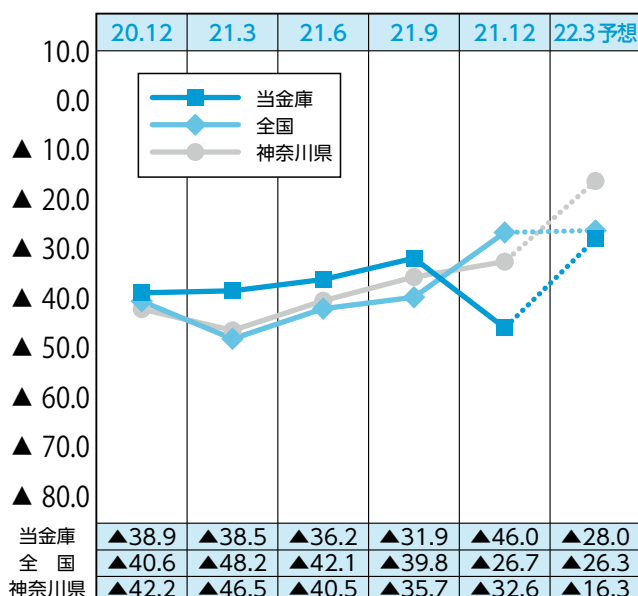
緊急事態宣言の解除による行動制限の緩和や県及び地方自治体の需要喚起策の実施により、宿泊業や介護事業、理美容業など多くの業種において客足は戻りつつあるものの、コロナウイルス発生以前の売上には回復しておらず、最低賃金の引き上げによる人件費や燃料費高騰の影響による収益の圧迫から景況感については 6 期ぶりの悪化となっております。

また、今後の重点施策として 4 割超の企業が経費を削減すると回答しております。

なお、全国は 13.1 ポイント改善の▲26.7 となっており、神奈川県は 3.1 ポイント改善の▲32.6 となっております。

来期の予想業況判断については、18.0 ポイント改善の▲28.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	32.6	21.8	45.6	D.I. ▲13.0
当期実績	28.0	34.0	38.0	▲10.0
来期予想	36.0	32.0	32.0	4.0
前年同期比	26.0	32.0	42.0	▲16.0

料金価格

前期実績	-8.8	84.6	6.6	D.I. 2.2
当期実績	-8.0	84.0	8.0	0.0
来期予想	-6.0	86.0	8.0	▲2.0

資金繰り

前期実績	-6.5	60.9	32.6	D.I. ▲26.1
当期実績	-6.0	62.0	32.0	▲26.0
来期予想	-4.0	66.0	30.0	▲26.0

設備状況

前期実績	-2.1	74.5	23.4	D.I. ▲21.3
当期実績	-2.0	74.0	24.0	▲22.0
来期予想		73.5	26.5	▲26.5

当期実績…2021 年 10～12 月期
来期予想…2022 年 1～3 月期

□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

収益

前期実績	28.2	28.4	43.4	D.I. ▲15.2
当期実績	24.0	36.0	40.0	▲16.0
来期予想	36.0	28.0	36.0	0.0
前年同期比	22.0	32.0	46.0	▲24.0

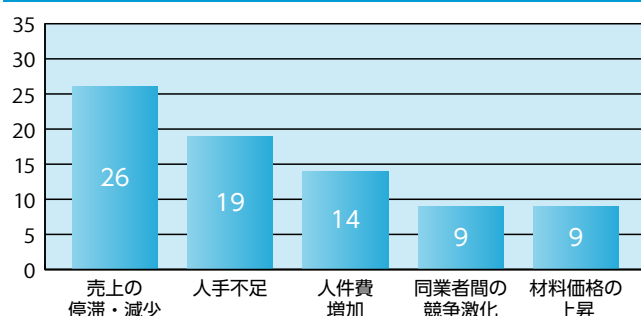
材料価格

前期実績	34.0	63.8	2.2	D.I. 31.8
当期実績	36.7	63.3		36.7
来期予想	30.6	69.4		30.6

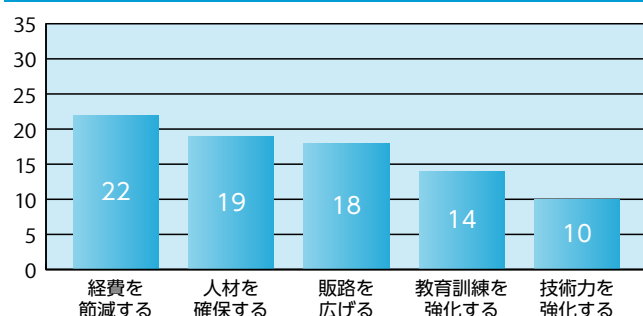
人手

前期実績	-2.1	55.4	42.5	D.I. ▲40.4
当期実績	-8.0	44.0	48.0	▲40.0
来期予想	-8.0	46.0	46.0	▲38.0

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.0 ポイント小幅悪化の▲6.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 1.6 ポイント小幅改善の 0.0、収益 D.I. は 4.5 ポイント改善の▲8.6 となっております。

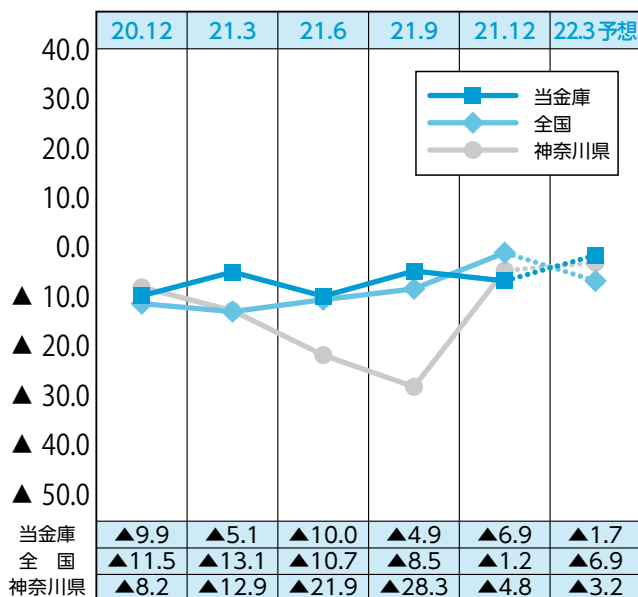
当営業エリアでは戸建て住宅建設が堅調に推移していることに加え、コロナウイルスの影響により先送りとなっていた民間企業や個人顧客からの受注が徐々に回復している状況がみられます。しかし、依然続く原材料価格の値上がり及び燃料費高騰の影響があるものの、発注者への価格転嫁が即時にできない企業もみられることから景況感はいくらか悪化となっております。

また、慢性的な人材不足に対応するべく、海外からの技能実習生を採用する動きがみられますが、コロナウイルスの影響により来日できず、人材不足が解消に至らない状況が見受けられます。

なお、全国は 7.3 ポイント改善の▲1.2 となっており、神奈川県は 23.5 ポイント改善の▲4.8 となっております。

来期の予想業況判断については、5.2 ポイント改善の▲1.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	26.2	46.0	27.8	D.I. ▲1.6
当期実績	31.0	38.0	31.0	0.0
来期予想	22.4	48.3	29.3	▲6.9
前年同期比	24.1	41.5	34.4	▲10.3

請負価格

前期実績	16.3	75.6	8.1	D.I. 8.2
当期実績	12.0	77.7	10.3	1.7
来期予想	8.6	81.1	10.3	▲1.7

在庫

前期実績	3.2	88.7	8.1	D.I. ▲4.9
当期実績	3.4	89.8	6.8	▲3.4
来期予想	1.7	86.3	12.0	▲10.3

人手

前期実績	8.1	59.2	32.7	D.I. ▲24.6
当期実績	3.4	58.7	37.9	▲34.5
来期予想	5.1	57.0	37.9	▲32.8

収益

前期実績	18.0	50.9	31.1	D.I. ▲13.1
当期実績	25.8	39.8	34.4	▲8.6
来期予想	18.9	53.6	27.5	▲8.6
前年同期比	25.8	36.3	37.9	▲12.1

材料価格

前期実績	50.8	47.6	1.6	D.I. 49.2
当期実績	70.6	27.7	1.7	68.9
来期予想	60.3	36.3	3.4	56.9

資金繰り

前期実績	9.8	78.8	11.4	D.I. ▲1.6
当期実績	10.3	74.2	15.5	▲5.2
来期予想	12.0	69.1	18.9	▲6.9

設備状況

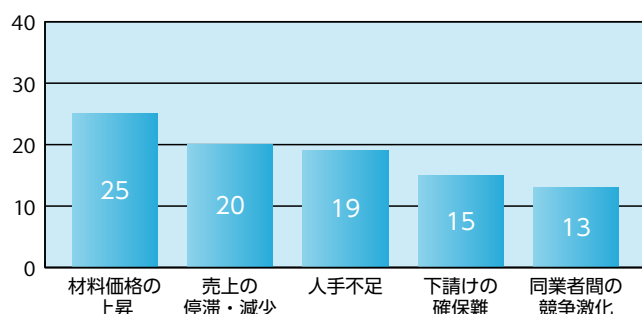
前期実績	4.9	87.0	8.1	D.I. ▲3.2
当期実績	1.7	96.6	1.7	0.0
来期予想	94.9	5.1		▲5.1

当期実績…2021 年 10～12 月期
来期予想…2022 年 1～3 月期

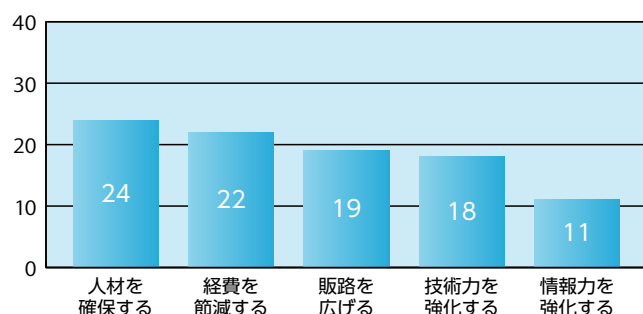
□ 良い、増加、上昇
□ 普通、変わらず
□ 悪い、減少、下降

□ 過剰、楽
□ 適正
□ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 20.6 ポイント悪化の 2.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 0.5 ポイント小幅悪化の 14.2、収益 D.I. は 12.1 ポイント悪化の 8.5 となっております。

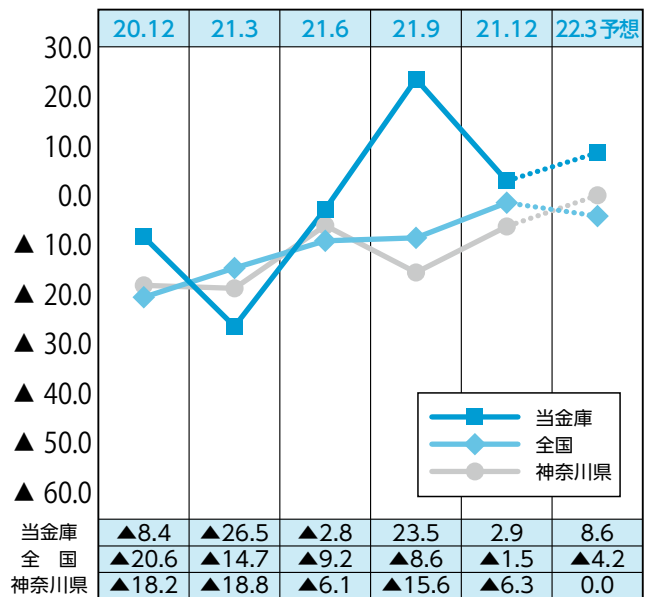
緊急事態宣言の解除により賃貸管理業では学生アパートの賃貸需要が回復傾向にあるとする企業が見受けられる他、営業エリア内における不動産業者は依然好調となっており、商品販売期間が短期化していることから景況感はプラス域で推移しております。

一方で経営上の問題点として約 8 割超の企業が商品物件の不足を挙げており、仕入価格高騰の影響から、収益 D.I. の悪化に繋がっております。

なお、全国は 7.1 ポイント改善の▲1.5 となっており、神奈川県は 9.3 ポイント改善の▲6.3 となっております。

来期の予想業況判断については、5.7 ポイント改善の 8.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	32.3	50.1	17.6	D.I. 14.7
当期実績	34.2	45.8	20.0	14.2
来期予想	25.7	48.6	25.7	0.0
前年同期比	37.1	40.1	22.8	14.3

販売価格

前期実績	26.4	64.8	8.8	D.I. 17.6
当期実績	17.1	71.5	11.4	5.7
来期予想	22.8	68.7	8.5	14.3

在庫

前期実績	26.5	73.5		D.I. ▲73.5
当期実績	42.9	57.1		▲57.1
来期予想	2.8	40.1	57.1	▲54.3

人手

前期実績	2.9	70.7	26.4	D.I. ▲23.5
当期実績	2.8	88.7	8.5	▲5.7
来期予想	2.8	83.0	14.2	▲11.4

収益

前期実績	38.2	44.2	17.6	D.I. 20.6
当期実績	28.5	51.5	20.0	8.5
来期予想	20.0	54.3	25.7	▲5.7
前年同期比	40.0	40.0	20.0	20.0

仕入価格

前期実績	29.4	61.8	8.8	D.I. 20.6
当期実績	28.5	65.8	5.7	22.8
来期予想	28.5	68.7	2.8	25.7

資金繰り

前期実績	17.6	70.7	11.7	D.I. 5.9
当期実績	11.4	85.8	2.8	8.6
来期予想	11.4	80.1	8.5	2.9

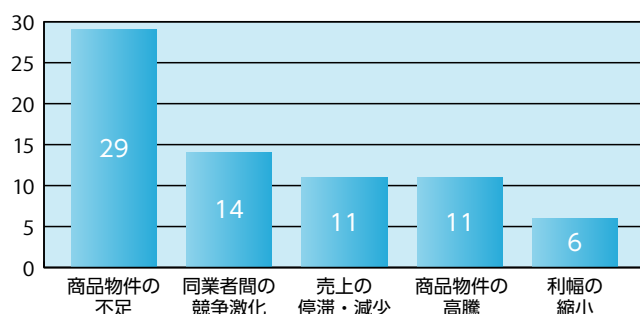
当期実績…2021年10～12月期
来期予想…2022年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

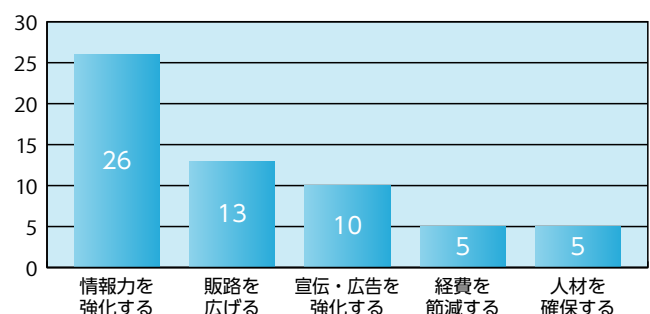
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



問 1. 貴社では、2022 年の日本の景気をどのように見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|---------|------|---------|-------|
| ○ 非常に良い | 1 社 | ○ やや悪い | 133 社 |
| ○ 良い | 11 社 | ○ 悪い | 51 社 |
| ○ やや良い | 34 社 | ○ 非常に悪い | 5 社 |
| ○ 普通 | 84 社 | | |

問 2. 貴社では、2022 年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|---------|-------|---------|------|
| ○ 非常に良い | 2 社 | ○ やや悪い | 86 社 |
| ○ 良い | 16 社 | ○ 悪い | 44 社 |
| ○ やや良い | 54 社 | ○ 非常に悪い | 0 社 |
| ○ 普通 | 117 社 | | |

問 3. 貴社における今期（10～12 月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の 10～12 月）と比較してどの程度売上に影響がありましたか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|------------------|------|--------------------|-------|
| ○ 90%以上の減少 | 2 社 | ○ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 150 社 |
| ○ 70%以上 90%未満の減少 | 5 社 | ○ 10%以上 30%未満の増加 | 31 社 |
| ○ 50%以上 70%未満の減少 | 12 社 | ○ 30%以上の増加 | 4 社 |
| ○ 30%以上 50%未満の減少 | 29 社 | | |
| ○ 10%以上 30%未満の減少 | 86 社 | | |

問 4. 貴社における次期（1～3 月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の 1～3 月）と比較してどの程度売上に影響があると考えられますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|------------------|------|--------------------|-------|
| ○ 90%以上の減少 | 1 社 | ○ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 151 社 |
| ○ 70%以上 90%未満の減少 | 8 社 | ○ 10%以上 30%未満の増加 | 40 社 |
| ○ 50%以上 70%未満の減少 | 7 社 | ○ 30%以上の増加 | 2 社 |
| ○ 30%以上 50%未満の減少 | 29 社 | | |
| ○ 10%以上 30%未満の減少 | 81 社 | | |

問 5. 高齢者雇用安定法の改正により、積極的な高齢者の雇用が期待されている中、貴社では、高齢者の雇用（常勤から短時間のパートを含む全ての就労）についてどのような考えをもっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|----------------------|-------|----------------------------|------|
| ○ ニーズに合う人材がいれば雇用したい | 103 社 | ○ 雇用したくない | 17 社 |
| ○ 必要に応じて雇用したい | 67 社 | ○ 若年層の応募がなければ高齢者を雇用せざるを得ない | 16 社 |
| ○ 高齢者を含め新たに採用する予定がない | 52 社 | ○ その他 | 10 社 |
| ○ できれば雇用したくない | 34 社 | | |
| ○ 積極的に雇用したい | 18 社 | | |

問 6. 貴社では、高齢者の就労メリットについてどのような考えをもっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|----------------------|-------|---------------------------|------|
| ○ 経験・熟練による技術・技能がある | 140 社 | ○ シフト予定を遵守する律義さがある | 13 社 |
| ○ 短時間労働や変則業務に応じてくれる | 48 社 | ○ 年齢構成の多様化により職場の活性化が期待できる | 5 社 |
| ○ 社会的経験により顧客への対応力がある | 46 社 | ○ その他 | 43 社 |
| ○ 国からの助成金を得ることができる | 15 社 | | |

問 7. 貴社では、高齢者就労の上で不安に感じることにについてどのような考えをもっていますか。あてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | | | | |
|-------------------|-------|----------------------|------|
| ○ 雇用期間中の健康管理・体調維持 | 140 社 | ○ 経験してきたスキルが活かせるかどうか | 16 社 |
| ○ 能力・体力等の個人差 | 57 社 | ○ パソコンなどの使用スキル | 16 社 |
| ○ 業務中の負傷 | 30 社 | ○ その他 | 34 社 |
| ○ 周囲の従業員との協調性 | 23 社 | | |